

クラシック界の
シンデレラガール、
登場！

モーツァルト
ヴァイオリン・ソナタ 長調 K.301
W.A.Mozart : Violin Sonata in G major K.301

R.シュトラウス
ヴァイオリン・ソナタ 変ホ長調 op.18
R.Strauss : Sonata for Violin and Piano in E-flat major op.18

プロコフィエフ
無伴奏ソナタ ニ長調 op.115
S.S.Prokofiev : Sonata for Solo Violin in D major op.115

フランク
ヴァイオリン・ソナタ イ長調
C.Frank : Sonata for Violin and Piano in A major

アラベラ・美歩

シュタインバツハー

ヴァイオリン・リサイタル

ピアノ:ロベルト・クーレック



©Bernd Noelle Fotografie

2014 **12/3** (水) PM6:45
愛知県芸術劇場コンサートホール

S ¥6,000 A ¥5,500 B ¥4,500
C ¥3,500 D ¥3,000 学生 ¥2,000 (税込)

ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込みください。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるかご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお願い致します。

■プログラム内容等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
■未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

中京テレビ 45 主催：中京テレビ放送 企画・運営：中京テレビ事業

お問合せ
お申込み **中京テレビ事業 ☎052-957-3333**
〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F (月~金 AM10:00~PM5:00 / 土・日・祝日休業)

<http://cte.jp> 中京テレビ事業 検索 **5/24(土) 発売開始**
AM10:00~

座席表からお席をお選びいただけます！

中京テレビ事業チケットセンター	052-320-9933
チケットびあ (Pコード 223-430)	0570-02-9999
ローソンチケット (Lコード 46506)	0570-084-004
愛知芸術文化センター-PG	052-972-0430
栄プレチケ92	052-953-0777
Ⓧ+ (イープラス)	eplus.jp
名鉄ホールチケットセンター	052-561-7755
中日サービスセンター	052-263-7282

他 有名プレイガイド

ドイツが生んだ久々の大型新人!

ドイツ人の父と日本人の母に生まれたアラベラ・美歩・シュタインバッハーはゲルギエフ、マゼール、パッパーノ、デイヴィスといった巨匠中の巨匠指揮者たちと世界中の名だたるオーケストラとの共演を次々と成功させ、国際舞台で活躍する第一線のヴァイオリニストとして、既に確固たる地位を確立しています。ヴァイオリンのプリンセスからクイーンへその歩みを進めつつある驚異の才能、名古屋クラシックフェスティバル初登場です!



©Robert Vano

アラベラ・美歩・
シュタインバッハー (ヴァイオリン)

Arabella Miho Steinbacher, violin

アラベラ・美歩・シュタインバッハーは、世界のメジャー・オーケストラと共演を重ね、国際舞台で活躍する第一線のヴァイオリニストとして、既に確固たる地位を確立している。<ニューヨーク・タイムズ>は、「叙情と情熱のバランスのよさ。彼女の長所は、とりわけ磨き抜かれたテクニックと美しく多彩な音色にある」と評している。

ソリストとしてのキャリアは、2004年バリでの劇的で予期せぬデビューに始まる。急病のチョン・キョンファに代わって舞台に立ち、ネヴィル・マリナーの指揮フランス放送フィルハーモニー管弦楽団と、ベートーヴェンの協奏曲を演奏し、大成功を収める。

20曲以上の協奏曲を含む、多彩なレパートリーを持ち、全ての古典派やロマン派時代の主要な協奏曲に加えて、バーバー、バルトーク、ベルク、グラスノフ、ハチャトゥリアン、ミヨー、プロコフィエフ、シュニトケ、ショスタコーヴィチ、ストラヴィンスキー、シマノフスキ、ハルトマン、そしてグバイドゥリーナの「オフェルトリウム」と多様である。

すでに国際的に一流のオーケストラと共演しており、ロンドン響、ロンドン・フィル、フィルハーモニア管、パーミンガム市響、シカゴ響、フィラデルフィア管、バイエルン放響、ミュンヘン・フィル、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、NDR北ドイツ放響、ベルリン・ドイツ響、ベルリン放響、WDRケルン放響、ウィーン響、チェコ・フィル、スイス・ロマン管、サンクト・ペテルブルク・フィル、スペイン国立響と共演。日本では、新日本フィル、N響、読売日響、札幌交響楽団、東京交響楽団と共演する。

また現代第一線の指揮者と共演しており、その中には、マゼール、メータ、ネヴィル・マリナー、コリン・デイヴィス、ドホナーニ、マズア、シャイー、デュトワ、アシュケナージ、ゲルギエフ、パッパーノ、フェドセーエフ、ルイジ・ネルソンスなどがある。

室内楽にも積極的で、共演者には、ピアニストのロベルト・クーレック、ベータ・フォン・ヴィーンハルト、チェリストのアルバン・ゲルハルト、ダニエル・ミュラー＝ショットがいる。

ドイツ、ミュンヘンで、ドイツ人の父と、日本人の母に生まれ、9歳の時に、ミュンヘン音楽学校でアナ・チュマチェンコ教授の最年少の生徒となる。その後は、巨匠イヴリー・ギトリスからも、多大な音楽的影響と指導を受け、今でもバリにギトリスを定期的に訪ねている。使用楽器は、日本音楽財団貸与のストラディヴァリウス「ブース」(1716年製)である。

ロベルト・クーレック (ピアノ) *Robert Kulek, piano*

ロベルト・クーレックは最も優れた伴奏ピアニストの一人として、今日最も活躍している一流の音楽家たち、チョン・キョンファ、ギル・シャハム、アラベラ・美歩・シュタインバッハー、ユリア・フィッシャー、ヴィヴィアン・ハーグナー、ダニエル・ミュラー＝ショット等と多数共演している。

ヨーロッパをはじめ、北アメリカ、東アジアにおいても絶賛されており、ベルリン及びケルンのフィルハーモニー、ミュンヘン・ヘラクレスザール、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ウィーン・ムジックフェライン、ザルツブルク・モーツァルテウム、チューリッヒ・トーンハレなど多数のホールで演奏している。

音楽祭にも頻繁に出演しており、ドイツではシュヴェツィンゲン、メクレンブルク・フォアポンメルン、ラインガウの各音楽祭、スイスのルツェルン音楽祭、フランスではコルマル、サン＝ドゥニの各音楽祭、シカゴのラヴィニア音楽祭、バンクーバー室内楽音楽祭などが挙げられる。

録音も多く、ダニエル・ミュラー＝ショットと録音したフランス作品集はエディソン賞(オランダの世界的なレコード賞)にノミネートされ、「ストラド」誌および「BBCミュージック・マガジン」誌で今月の一枚に選ばれた。アラベラ・美歩・シュタインバッハーとの録音は「ブランク、フォーレ、ラヴェル:ソナタ集」で2008年6月にOrfeoレーベルよりリリースされた。

ロベルト・クーレックはラトヴィア首都リガ生まれ。9歳で家族とともにアメリカに移住。マネス音楽院でエレナ・レオノヴァに師事し音楽の勉強を始め、ロンドンのギルドホール音楽演劇学校ではジョアン・ハヴィルに師事。さらにイエール大学ではボリス・ベルマンとクロード・フランクに師事した。現在、オランダ在住。



©Bernd Noelle Fotografie